

埼玉医科大学(後期) 英語

2024年 3月2日実施

1

- 問 1. ① 問 2. ③ 問 3. ② 問 4. ② 問 5. ④
問 6. ③ 問 7. ① 問 8. ③ 問 9. ② 問 10. ③
問 11. ④ 問 12. ③

<講評>

文法・語法に関連した適語補充問題。近年は B パートには語句整序問題が出題されることが多かったが、2019 年度に出題された「各英文の空所に共通して入る語を選べ」というタイプの問題が、本年度前期と同様に出題された。非常に基本的なレベルの問いばかりであり、完答を目指したい。

<解説>

問 1 「ジェームズは勤勉な労働者で他の人々の面倒見がよい。そういうわけで、彼はみんなから尊敬されているのだ」

That is why S V ... 「そういうわけで S は V である」という意味。

問 2 「ますます多くの会社が、もし業務が自宅でできるならば、テレワークに移行しているように思われる」

助動詞の後ろは動詞の原形なので、can be done を選ぶと the tasks can be done at home となり、文意が通る。

問 3 「あなたの傘が見つからないよ。昨日の夜、電車で置き忘れたにちがいないね」

must have done 「…したにちがいない」という意味。

問 4 「後ろのドアを開けたままにしないようにしなければならぬことを常に覚えておきなさい」

remember to do 「…することを覚えている」「忘れずに…する」という意味。

問 5 「マユミが私に先週のオーストラリアへの学校の旅行が素晴らしかったと話してくれた。私もその旅行に参加していればよかったのになあ」

wish (that) S V ... の動詞は仮定法になる。

問 6 「そのテーマについてたくさんの本を読んだので、その本を簡単に理解することができた」

Having done ... で副詞句を導き、分詞構文になっている。

問 7 「考古学は、1978 年に私が勉強した科目だが、この大学ではもはや教えられていない」

archaeology, the subject I studied は同格の関係になっている。なお、the subject と I のあいだに目的格の関係代名詞 (that / which) が省略されている。

問 8 「私は会議に出席する必要があり、約 1 時間で戻るだろう」

未来の表現 + in <時間> の形で、「<時間>後に」という意味。

問 9 「クリストファー・コロンブスがアメリカに着いたのは、1492 年だと言われている」

It is said that S V ... 「…だと言われている」の中で、強調構文が用いられている。

強調構文は *it is [was] ~ that ...* の形で、～には名詞や副詞が入る。本問は、*in 1492* という前置詞＋名詞が副詞となって入っている。

問 10 (1) 「彼は最も窃盗で告発されそうにない人だ」

(2) 「この食べ物は冷蔵庫で一週間持つだろう」

(1) *the last A to do* 「最も・・・しそうにない A」という意味。

(2) *last* 「持つ」という意味。

問 11 (1) 「私たちは子供たちと湖の近くのコテージで休日を過ごした」

(2) 「私たちは世界で何が起きているのかを詳しく見る必要がある」

(1) *be close to A* 「Aに近い」という意味。

(2) *have a close look at A* 「Aを詳しく見る」という意味。

問 12 (1) 「そのことについて嘘をつくなんて、君は意地悪だ」

(2) 「その発言で何を意味していたのですか」

(1) *mean* は形容詞として用いた場合「意地悪な」という意味。

(2) *mean A by B* 「BでAを意味する」という意味。

2

問 1. ③ 問 2. ② 問 3. ① 問 4. ③ 問 5. ②

問 6. ④ 問 7. ③ 問 8. ③ 問 9. ④ 問 10. ①

<講評>

AI の利点と欠点について論じた英文。例年通り、論説文と会話文の融合問題のような形態をとっているが、実際には “According to the passage” / “According to the dialogue” と別々の問いが設置されているのみで、両方を同時に参照しなければならない問いは特にない。

<解説>

問 1 人工知能の定義について述べられている第 1 段落 3 文目と内容が一致する③が正解。

①が紛らわしいが、*created by technologists* の部分が良くない。AI という言葉を作ったのが *John MacCarthy* (1 人) と本文に述べられているので、*technologists* と複数形で書かれているのはおかしい。

問 2 空所が *doing* の目的語になっているので、*technology* や *brain* は意味が通らない。

AI の定義を述べている段落なので、*nothing* 「何もしない」では意味が通らない。AI ができることを述べるはずである。

問 3 *AI robots* ができることは 3) *Taking Risks Instead of Humans* の箇所に述べられている。具体的には 3 文目と①が一致する。

問 4 文脈から判断する問題。直後の内容で「AI はプログラムされたこと以外できない」と言っているので、③「新しい異なった考え方をする」という「創造性」の意味を含む

この選択肢が正しい。

- 問 5 2) Unemployment の箇所的一致している②が正解。
- 問 6 論理関係を押さえる問題。直後の but が逆接なので、この部分は反対の内容になるはず。「より良い世界を作るために発明の良い部分を用いるべき」とあるので、その反対で「良い部分も悪い部分も両方ある」という内容にしたい。
- 問 7 表現を知らなくても解答できる。Jane の発言内容から AI に対して否定的な感情を持っていることがうかがえる。
- 問 8 Kelly の 2 つ目の発言に注目。2 文目に「新たな技術が生活に影響を与えると人は恐怖を感じる」という内容がある。この内容と一致する③が正しい。
- 問 9 直前で「AI は学習をサポートするのに役立つツールだ」とある。AI に対して肯定的な意見が来ているため「AI を禁止すべきではないと思う」という内容が文脈に合う。直後に instead という語があるが、この語は「否定文+肯定文」という関係性を作りやすい語なので、それをヒントに④を選んでもよい。
- 問 10 AI に仕事を奪われる可能性を肯定してはいるが「私たちの仕事はなくなる」と発言しているため、「一部の仕事は AI に脅かされるが、すべてではない」という選択肢①が正解。

3

- 問 1. ④ 問 2. ③ 問 3. ③ 問 4. ④ 問 5. ④
 問 6. ③ 問 7. ④ 問 8. ① 問 9. ② 問 10. ②

<講評>

人種の違いが新生児の死亡率に及ぼす影響について論じた英文。前期と同様、問いも選択肢が日本語であるものが大半を占めており取り組みやすい。

<解説>

- 問 1 乳児死亡率は、白人の場合 1,000 人あたり 4.6 人、黒人乳児の場合 10.8 人であるから、2 倍以上の違いがある。
- 問 2 make sure the best care is available が正しい語順。make sure (that) SV で「S が確実に V できるようにする」、be available で「利用可能な」。
- 問 3 ①, ②, ④はいずれも第 2 段落第 2 文で挙げられている。
- 問 4 第 3 文より、健康保険未加入率は黒人が 13.6 パーセント、白人が 9.8 パーセントで黒人の方が現在でも高い。
- 問 5 第 3 文で、痛みの感じ方に人種で違いがあるという誤解が、一部の医学部生や医師の間にあると述べられている。
- 問 6 前節の内容を受けて、「それが治療に影響を与えた」とつなげられるのは、関係代名詞の非制限用法の which である。

- 問 7 直前の **a physician who shares the same race or gender as the patient** がヒント。
「医師と患者の性や人種の一致」
- 問 8 選択肢①の内容が第 5 段落第 1 文に合致。
- 問 9 人種が同じ黒人医師が担当した場合は黒人の乳児死亡率が改善されたことが示されているので、「半分以上減少した」が適切。
- 問 10 最後から 2 番目の文で、「医師の人種は、不平等を生む要因の一つにすぎない」と述べられている。

4

- 問 1. ③ 問 2. ② 問 3. ① 問 4. ① 問 5. ④
問 6. ① 問 7. ③ 問 8. ② 問 9. ③ 問 10. ①

<講評>

人の行動を決定づける要因について論じた英文。3 本の長文の中では最も抽象的なテーマで、やや読みづらさを感じたかもしれないが、設問は概ね単純。

<解説>

- 問 1 ①は第 1 段落第 2 文、②は第 1 段落第 3 文、④は第 1 段落第 4 文の内容を反映している。③の **increasing the causes of behavior** 「行動の原因を増やす」という内容については言及がない。
- 問 2 下線部の意味は「私たちはしばしば性急に、ある物事が別の物事の後に続くなら、おそらくそれがそれに引き起こされたものと言ってしまいがちである」。2 つある **it** のうち前者は **one thing**、後者は **another** を指している。**one thing=B**、**another=A** と置くと、「B の後に A が起こるなら、B によって A が引き起こされたものと言いがちだ」ということになり、これがそのまま②で示された内容になる。
- 問 3 **be familiar with** ~ 「～に馴染みがある、～について精通している」を問うている。
The person with whom we are most familiar = The person whom we are most familiar with
- 問 4 並べ替えると **(we take) our anger to be the cause (of our remark)** となる。「私たちは自らの発言の原因が怒りにあると考える」という意味。
- 問 5 **they** も **such** も指示語であることから、直前の節を参照すればよく、そこには「感情は、行動の原因となるちょうどいいタイミングで起こる」と述べられているため、「感情⇒行動」という因果関係を示した④を選ばばよい。
- 問 6 選択肢のうち、空所に補って文脈に整合するのは **predict** 「～を予測する」のみ。
- 問 7 単純な文法問題。_____ (v) **a child** (o) **to eat ...** (c) という構造になっていることから、このような文型をとることが可能な **get** を選ぶ。**make, have, let** はいずれも使役動詞であり補語には原形不定詞をとる。

問 8 “depriving him of food”, “feel hungry”, “has eaten the nutritious food” の 3 つについて、それぞれが “mental event” / “physical event” のいずれに該当するかを考えればよい。「食べ物を奪うこと」と「栄養価の高い食べ物を食べること」は実際の行動を含むため physical event, 「空腹を感じること」は内的な感覚であるため mental event であると判断できる。したがって, “physical event ⇒ mental event ⇒ physical event” という流れが導ける。

問 9 空所直後の if any に注目するだけで解ける。few / little + if any で「(数量が) たどえあったとしてもごくわずかだ」の意。ここでは修飾対象の名詞 attention が不可算であることから little を用いている。

問 10 traditional perspectives に従って思考した場合については第 3 段落第 3 文で述べられており, それによって another question then arises 「また別の問題が生じる」として複数の疑問を挙げていることから, それを反映した①が正答。

【総評】

前期同様, 昨年度までと比べ長文の大問が 1 つ減り, 文法 1 題 + 長文 3 題から成る 4 題構成であった。例年, 最終大問は医師の目線で綴った随筆形式の文章であったが, 前期と同様その類の文章も出題されなかった。制限時間に比して文章量は多めである一方, 細部の読解を求めるような問題は相対的に少なめである。パラグラフごとの論旨を意識しつつ, スピーディーに読み進められたかがポイントとなったであろう。一次通過には 75% 程度の得点が望まれる。

医大別直前二次試験対策講座(後期)

- 金沢医科大学 (般後)
- 埼玉医科大学 (般後・共)
- 日本医科大学 (般後)
- 昭和大学 (般Ⅱ期)
- 聖マリアンナ医科大学 (般後)
- 日本大学 (N方式2期)
- 藤田医科大学 (般後・共後)

合格を勝ち取る！
各大学の二次試験の要点解説と面接対策

◆スケジュールについてはHPでご確認ください。



本解答速報の内容に関するお問合せは


医学部専門予備校
YMS
 heart of medicine
 ☎ 03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
 東京都渋谷区代々木1-37-14

医学部進学予備校 **メビオ** ☎ 0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>
 医学部専門予備校
英進館メビオ 福岡校 ☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録または LINE 友だち追加で全科目を閲覧

メルマガ登録 
 LINE 登録 